



2025年11月14日

各 位

会社名 ミガロホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 聖
(コード番号 5535、東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬晃二
(TEL. 03-6302-3627)

2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年5月12日公表)	百万円 60,000	百万円 2,800	百万円 2,150	百万円 1,300	円 錢 22.21
今回修正予想 (B)	60,000	2,900	2,170	1,320	21.58
増 減 額 (B-A)	—	100	20	20	
増 減 率 (%)	—	3.6	0.9	1.5	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	51,709	2,713	2,121	1,390	23.79

※当社は、2024年7月1日、2025年3月1日及び2025年6月1日を効力発生日として、それぞれ普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の金額を記載しております。

[修正の理由]

当社グループの成長の柱であるDX推進事業は、DX・AI関連人材の拡大とともに、顔認証プラットフォームサービス「FreeiD」の事業拡大に加え、企業のDXを支援するデジタルインテグレーション・システム受託開発の収益性拡大により、高い成長率を維持して業績を伸長しております。また、当社グループの収益の柱であるDX不動産事業は、昨今の賃料の上昇による不動産価格の上昇や堅調な需要に支えられ、想定よりも強い業績進捗をしている状況にあります。

当連結会計年度は、景気変動や長期金利上昇圧力といったDX不動産事業の不透明な事業環境、今後の成長を担うDX推進事業への先行投資を勘案し、保守的に業績予想を立てましたが、上期における業績の進捗が当初想定よりも強く、2025年5月12日発表の通期連結業績予想発表時点よりも順調に利益が計上されていることから、DX不動産事業における販売戦略や人員戦略、広告戦略等を、またDX推進事業における投資戦略等を総合的に見直し、2026年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

この結果、売上高予想を60,000百万円、営業利益予想を2,900百万円、経常利益予想を2,170百

円、親会社株主に帰属する当期純利益予想を1,320百万円に修正いたしました。

※連結業績予想に関する留意事項

上記の連結業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上